

平成27年度一般社団法人和歌山市消防協会事業報告

消防及び防災に関する知識の普及及び啓発、調査及び研究、講習会の開催等を行うことにより、防火・防災意識の高揚を図るとともに、災害に強い街づくりを目指し、もって社会公共の安全及び福祉の向上に寄与することを目的として次の事業を行った。

(1) 和歌山市消防局防災学習センター運営事業

ア 和歌山市消防局防災学習センターの運営に係る業務について、平成27年4月から平成28年3月までの1年間、受託者として同センターの運営にあたり施設の見学案内を行った。

(平成27年度の入館者 10,615人

・毎日新聞防災特別号(9月)・毎日新聞紙面(1月)でPR)

イ 地震体験車に係る業務については、防災学習センター見学案内の一環として、防災意識の高揚及び防災に対する知識の向上を図った。

(平成27年度の利用者数 9,298人※イベント派遣時の利用者含む)

ウ 4月初旬に市内の全保育園、幼稚園、小学校と県下・大阪府下の小学校に学習センター利用案内を協会独自で送付し、団体利用数のアップを図った。

(県内 257通、県外 30通)

エ 7月18日から8月30日の夏休み期間中毎日、防災学習センター内でイベントを開催。小学3年生以下にはスタンプラリーを、4年生以上にはスタンプ&防火防災クイズラリーを実施。小さな子どもから大人まで防災学習センターに来館していただくことにより、防火防災意識の向上を図るとともに、来館者アップも図った。

(TVCM 18本、ホームページ、こども市報でPR。

参加人数 407名)

オ 12月15日~1月11日まで毎日、防災学習センターでウィンターイベントを開催。夏休みイベント同様スタンプラリーとクイズラリーを実施し、来館者UPを図ると共に、防火防災意識の向上を図りました。

(TVCM 9本、ホームページ、市報でPR。

参加人数 70名)

(2) 防災教育事業

ア 『子どもなかよしまつり&和歌山音楽大行進』への参加において、会場に地震体験車を派遣し、地震時の行動力を身につけることができるように指導した。

(5月5日 利用者 443人)

イ 和歌山市消防局防災学習センター及び消防局の施設を利用して、平成27年7月24日・25日、8月7日・8日・9日に夏休み防火防災スクールを開催し、親子で楽しみながら火災予防意識の向上と災害時の行動力を身につけることができた。

(参加人数 小学生 89名 保護者等 98名)

平成27年度一般社団法人和歌山市消防協会事業報告

ウ 市民をはじめ市内の各種団体及び会員事業所を対象に防火・防災等出前講座を開催し、地震、津波、火災、その他救急に関する対策や対処方法を指導した。

(出前回数 43回 受講者 4,835人)

エ 会員事業所を対象に防火・防災に関するDVDの貸出しを行った。

(貸出し件数 6件)

(3) 防火防災広報等事業

ア 春と秋の火災予防運動、年末火災特別警戒で防火啓発を実施。

	実施日	実施内容
秋	11月 9日～15日	TVCMにて防火啓発 12本 消防掲示用ポスター 3,000枚
春	3月 1日～ 7日	TVCMにて防火啓発 12本 消防掲示用ポスター 3,000枚 ラジオ放送 7本
年末	12月15日～31日	TVCMにて防火啓発 15本 ラジオ放送 8本 ラジオ生放送 1本

イ テレビ、ラッピングバス、啓発旗などの広報媒体やイベントへの協賛により防火防災意識の向上を図った。

	実施日	実施内容
防災週間 (防災の日)	8月30日～9月5日	TVCM 6本
紀州おどり	8月1日	協賛 (うちわ・パンフレット等)
高齢者等防火推進週間	9月13日～19日	ホームページ
防火啓発バス	通年	側面広告
市ごみ収集車側面広告	通年	側面広告
第15回和歌浦ベイマ ラソン With ジャズ	11月29日	協賛 コース内に啓発旗25本
出初式	1月10日	住宅用火災警報器設置 啓発旗

ウ 救急車の利用増加・救急隊員の現場到着時間の遅延を防止するために、救急車の適正利用を呼びかけた。

平成27年度一般社団法人和歌山市消防協会事業報告

	実施日	実施内容
ラッピングバス	通年	側面広告
救急医療週間 (救急の日)	9月8日～14日	TVCM 6本
救急医療週間月	9月1日～30日	JR 和歌山駅前電光掲示板
第15回和歌浦ベイマ ラソン With ジャズ	11月29日	協賛 コース内に啓発旗25本

エ 防火啓発用語入りエコバックとハンカチタオルを作成し、各種週間やイベントで消防職員の協力のもと配布しました。

オ 子ども向け防火啓発パンフレット「消防署の仕事」を作成し、各署の協力のもと消防署見学時に配布しました。

(通年 5,000枚)

オ 会員事業所等に「消防協会だより」を年1回発行し、配布。

(1月 700部)

カ 夏休み防火防災スクールの体験の写真を活用して、カレンダーを作成。スクール参加者と市内の保育園、幼稚園、小学校、支援学校及び会員事業所に配布し、防火防災意識の向上を図った。

(カレンダー作成部数 800部)

(4) 講習事業

ア 各種講習会について、平成27年4月から平成28年3月までの1年間、受託者として下記講習会を実施した。

i) 甲種防火管理新規講習	8回	受講者	505名
甲種防火管理再講習	1回	受講者	26名
防災管理新規講習	1回	受講者	40名
防災管理再講習	1回	受講者	8名
ii) 患者等搬送乗務員基礎講習	1回	受講者	6名
患者等搬送乗務員定期講習	1回	受講者	5名
iii) 普及講習	73回	受講者	2,757名
普通救命講習	60回	受講者	1,472名
上級救命講習	3回	受講者	69名

イ 上記講習会にともなう各種講習テキストの販売を実施した。

i) 甲種防火管理新規講習テキスト	505冊
甲種防火管理再講習テキスト	26冊
防災管理新規講習テキスト	40冊
防災管理再講習テキスト	8冊
ii) 患者等搬送乗務員基礎講習テキスト	6冊
iii) 応急手当講習テキスト	220冊
心肺蘇生音声誘導器	1個

平成27年度一般社団法人和歌山市消防協会事業報告

(5) 防火防災用品等普及事業

ア 非常持出品等の災害発生時に必要な防災用品の普及促進を図った。

i) 個人販売 7種類 合計 45点

ii) 自治会 7種類 合計 39セット

イ 消防図書等の書籍の販売を行った。(1, 131冊)

(6) 市民防災大学講座開催事業

市民防災大学公開講座について、和歌山市(総合防災課)から委託を受けたので企画、立案及び会場運営、アンケート調査、報告等の業務を実施した。

	実施日	受講者
公開講座	1月17日	90名

(7) 5団体に関する事業

和歌山市危険物防火研究会、和歌山市防火管理者連絡協議会、和歌山市防火管理者連絡協議会各支部、和歌山市LPガス防火研究会、和歌山市消防交友会の経理事務について、平成23年6月から委託を受けたので、引き続き同団体の業務を行った。

(8) その他和歌山市消防協会の設立目的を達成するために必要な事業

ア 防火協力団体や各種研究会への広報活動支援を行った。

イ 協会充実に関する調査等の調査研究視察を実施した。

ウ 消防職・団員に対して、優良表彰を行った。

(3月6日 芦原分団・名草分団・木本分団)